



モノづくりの現場で求められる人物像について語る社長たち

大田工業連合会青年部連絡協議会と東京都立城南職業能力開発センター大田校は10月13日、同校多目的室で中小企業経営者と同校生徒による交流会を開催した。ものづくりエンジニア科、3DCAD・CAM科、デジタルクラフト科の生徒、合計41人が参加。モノ

づくりの現場で求められる人物像について語る社長たち

大田工業連合会青年部連絡協議会と東京都立城南職業能力開発センター大田校は10月13日、同校多目的室で中小企業経営者と同校生徒による交流会を開催した。ものづくりエンジニア科、3DCAD・CAM科、デジタルクラフト科の生徒、合計41人が参加。モノ

づくりの現場で求められる人物像について、というテーマに沿い各者は持論を展開。「少人数の会社なので連携が重要。うちの会社に馴染める人に来てほしい」（奥山社長）「探究心が大事。先入観にとらわれず挑戦する人材を評価しています」（鈴木社長）

「飽きっぽい性格の人。当社の仕事は一品モノが多く、やることは毎日違う。新しい仕事に新鮮味を感じてくれる人です」（尾針社長）

「当社は自動車関係なので、同じ仕事が多い。溶接は技術者の腕が頼りなので、同じ仕事を続けつつ少しずつ腕を磨く人を求めています」（柳井専務）

「難しい仕事に直面した時に、すぐ諦めてしまうのではなく、どうしたらできるかと前向きに考える人。パズルを組み立てるように、製造工程を考える人はありがたいです」（高木統括部長）

大田工連青年部、 城南職業能力開発センター 大田校の 生徒と交流

づくりの現場で必要とされる人物像について、経営者の生の声を聞いた。

工連青年部からの出席者は、（有）川内商会の冒頭、都立城南職業能力開発センター大田校の中村陽文統括課長代理は「本日は大田工連に所属する経営者の方々に来て頂きました。皆さんの就職につながる話をひとつでも聞かせて頂けたらと思います」と生徒に呼びかけた。

交流会は各社の自己紹介からスタート。福元委員長は「機械工具、工作機械の商社」奥山社長は「ロット一個からの樹脂の切削加工」、鈴木社長は「金属の切削加工メインで、美顕器も開発・販売」、尾針社長は「材料の特性を調べる試験片の受託加工」、柳井専務は「溶接とロウ付けの仕事」、高木統括部長は「試作専門の精密部品加工」と述べた。

近年「サポート詐欺」と呼ばれるサイバー攻撃が増加しています。警察庁発表の被害件数は、今年上半期で前年同期比25%以上増えています。サポート詐欺は、名前の通りサイバー攻撃というよりも詐欺に近い手口となっているため、どのようなストーリーで詐欺が行われるか理解することが、被害にあわないための近道です。

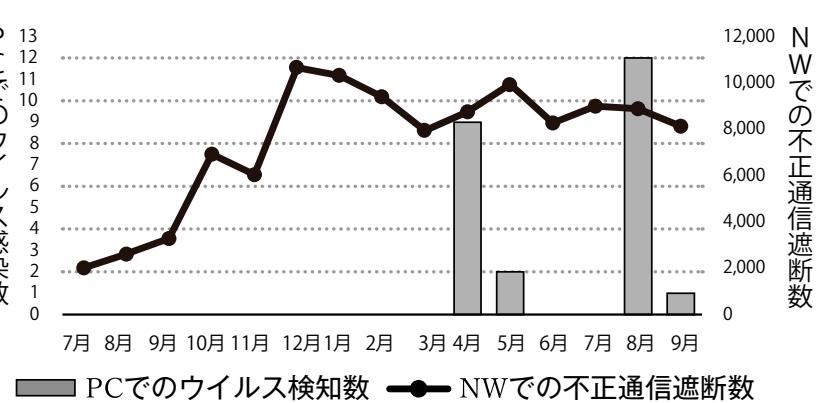
インターネットを見ているとき、突然「あなたのパソコンがウイルスに感染しました！」という警告画面が表示されます。これがサポート詐欺の始まりです。警告には「ウイルスに感染しているので、修理のためにすぐに電話をかけてください」と、マイクロソフト等を騙る電話番号が表示されます。この電話番号に電話をかけてしまうと、「修理するので修理費用としてお金を支払ってください」や、「調査するのでこのツールをダウンロードしてインストールしてください」などと、言葉巧みに詐欺をはたらこうとします。もちろん実際はウイルスに感染しているわけではないので、修理費用を支払っても騙し取られるだけです。しかもインストールを勧められるツールこそがウイルスになっているため、ツールをインストールしてしまって、情報漏洩やデータ破壊等の被害が発生する恐れがあります。

【当会会員企業におけるサイバー攻撃状況】

会員企業約30社で利用しているセキュリティサービスの検知状況をご報告いたします。不正通信数は、昨年末から1万件弱と高い水準を維持しており、実際にここ半年はご利用のパソコン上へのウイルス着弾を検知しています。

今回紹介した「サポート詐欺」についても、セキュリティ対策をきちんととしておくことで、サポートツールと偽ったウイルスをダウンドロードさせられる際にブロックしたり、ウイルスインストール時に検知したりと、従業員のITリテラシーに依存しない多層的なセキュリティ強化を実現可能となりますので、対策の一つとしてご検討ください。

サイバー攻撃件数の推移



ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します

大田区では、令和6年1月19日(金)午前10時から大田区役所本庁舎にて、企業向けワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します。

区内で活躍されている社会保険労務士を講師にお迎えして、『治療と仕事の両立支援セミナー～治療を受けながら仕事を続ける従業員のために会社ができること～』をテーマに、就労に不安を感じる従業員が安心して働くことができ、企業が人材を失わずに済むヒントなどについて

てお話しいただきます。

申込方法や参加方法などは、区のホームページやチラシなどでお知らせしていきます。ぜひご参加ください。

大田区 総務部 人権・男女平等推進課
電話 03-5744-1610



会場風景



来場者を出迎える磐梯工業ブース

大田区より

インフルエンザ予防接種費用助成事業を実施しています！

◎ お子様への助成

対象者

接種日現在、生後6か月以上15歳（中学校3年生相当）以下の大田区民

(1) 生後6か月歳以上13歳未満2回まで

【助成回数】

(2) 13歳以上15歳（中学生3年生相当）以下1回まで

接種1回につき1,000円の費用が助成されます。

※予診票兼助成申請書は、区内実施医療機関に備え付けてあります。

◎ 65歳以上の方等への助成

対象者

(1) 接種日現在、65歳以上の大田区民

(2) 接種日現在、60歳以上65歳未満で、法令で定められている方

【助成回数】

1人あたり1回無料

※対象となる方へ令和5年9月26日に予診票を発送しました。

小児インフルエンザ

高齢者インフルエンザ

詳細情報は大田区ホームページで
ご確認ください。右記の二次元コードから
アクセスできます。



問合先：大田区保健所感染症対策課
電話：03-5744-1263
FAX：03-5744-1524

大田区加工技術展

嵐の中で輝く、大田区の技術！。

大田工業連合会（以下、当会）

と大田区、大田区産業振興協会

が主催する大田区加工技術展示

商談会2023

PiO 1階大展示ホールで開催

された。昨年は大田区産業プラザ

PiOの1階大展示ホールが耐

震工事を行っており、会場を東京

都立六郷工科高校の体育館に変

更した為、2年ぶりのホーム開催

だ。当日は台風が接近するあいに

くの天気だったが、812名が参

加した。

当会関連企業から26社、全体

103社（団体）が出展した。日

新電気（株）はSDGsの取り組

みとして端材を有効活用したマ

ウスピットや、レーザー加工機

で彫刻したイニシャルキーホル

ダーをプレゼントし、来場者の注

目を集めた。

て偏心する機構を使い、プレスカ

シメ機の8分の1の力でカシメる

ことが可能。ワークに与える負荷

も、電力消費量も少なくてすむ。

説明員の酒井麻梨子さんは、「機

械のサイズの小ささにびっくりさ

れる来場者がいた。組み立て屋さ

んに向けてPRしたい」と語った。

特別講演は（株）村田製作所

通信・センサ事業本部 IOT

事業推進部 m-FLIPソリュ

ーション企画開発課の郷間真治氏

がつとめ、製造現場におけるIOT

化と改善につながるデータ活用

事例、というテーマで講演した。

rai, All for one
91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

P i O 1階大展示ホールで開催

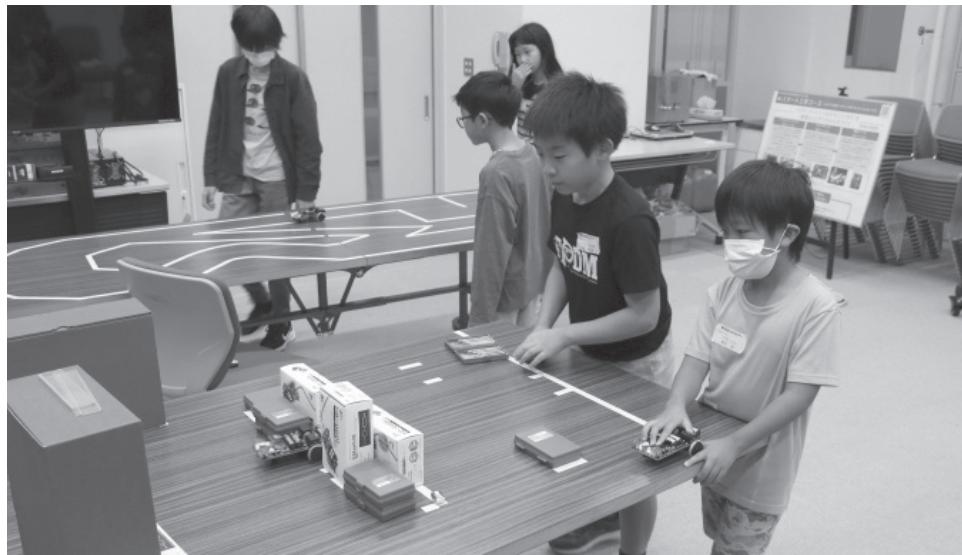
された。昨年は大田区産業プラザ

が9月8日、大田区産業プラザ

IoT基礎Lab. for Junior 秋のロボットセミナー in 都立産技高専 開催



先生の指導を受けつつ、ロボットを組み立てる



一所懸命、トライアンドエラー！

大田区と大田工業連合会は10月21日、東京都品川区の東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスで、「秋のロボットセミナー」を開催した。同イベントは、プログラミングカーの製作と専用ソフトの操作を通じ、プログラミングの基礎を学べるイベント。大田区在住在学の小学4年生から中学2年生までの子供たちが対象で、抽選で選ばれた20名が参加した。指導役は同校の浅川澄人先生、高専の5年生たちがサポートを務めた。

会の冒頭、大田工業連合会の西川恭子事務局長があいさつ。「皆さんのが住んでいる大田区はものづくりの町と言われています。今日、勉強していただくプログラミングはものづくりには欠かせないものです。このセミナーをきっかけに、将来、大田区のものづくりをさらに高めてくれる方がみなさんの中から生まれることを期待しています。」と述べた。

午前中、子供たちは自宅から持ってきた工具を使いロボットカー「KOROBO Lite（コロボライト）」を組み立てた。同キットは光センサーとモーターを2個搭載したコンパクトなロボット。コネクターの差し替えだけでセンサー位置を変更でき、障害物検出カーブ、床検出カーブ、ライントレースカーブとして制御を楽しめるのが特徴だ。イヤイヤにシャフトを差し込むのがやや難しく、金槌を使うトントン

ンという音が響いた。

ロボットカーができあがると、パレットIDEというソフトウェアを使い、ロボットカーのプログラミングに進んだ。

障害物競走のようなコースが用意され、

子供たちはプログラムとロボットカーの

動作確認というトライアンドエラーを繰り返す。先生やサポートの協力を得て

センサーの感度やモーターの回転スピード、プログラミングを調整し、ロボットカーがうまく走るようになると、子供たちの顔



西川事務局長の話を聞く子供たち

やさしい図面の見方講座(2回目)

当講座では、日本工学院専門学校様のご協力をいただき、図面の役割、投影の方法各種記号など図面を見る上で基礎となる知識を習得します。

日 時 令和6年2月13日(火)・14日(水)・15日(木)・19日(月)・20日(火)(全5日間)※講座時間はいずれも、午後6時30分～9時30分

対象者 金属加工業や機械工業等に従事し、図面に関する基礎的な知識の習得を必要とする方

※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

会場 日本工学院専門学校 蒲田キャンパス 大田区西蒲田5-23-22 (JR蒲田駅西口より徒歩3分)

講師 日本工学院専門学校 岡崎先生 他

定員 30名(抽選制)

受講料 会員: 5,000円・非会員: 6,000円 (いずれも教材費等込)

申込〆切 令和6年1月19日(金)

申込・問合せ先 ホームページよりお申し込みください ホームページ <https://ootakoren.com/>

FAXでの申込希望の方はホームページより申込書をダウンロード又はお問合せください

